

**授業概要**

様々な発達段階で生じる様々な障害について取り上げる。それぞれの障害の定義や社会的支援制度、障害の持つ意味や問題、障害の多様性、当事者や家族の問題や感じ方について講義する。障害を多様な視点から捉え、どう対応・支援していくことが必要か、ともに生きる社会をどのように作るべきか、受講者と意見を交換しながら講義する。本科目は、公認心理士カリキュラムに対応する科目である。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション, 障害者心理学の意義・目的・障害の定義
第 2 回	障害の種類
第 3 回	障害の理解と受容
第 4 回	視覚障害の心理とその支援
第 5 回	聴覚障害の心理とその支援
第 6 回	音声・言語障害の心理とその支援
第 7 回	高次脳機能障害・認知症の心理とその支援
第 8 回	知的障害の心理とその支援
第 9 回	自閉スペクトラム症の心理とその支援
第 10 回	注意欠如・多動症の心理とその支援
第 11 回	学習障害の心理とその支援
第 12 回	情緒障害の心理とその支援
第 13 回	精神障害の心理とその支援
第 14 回	肢体不自由・重度・重複障害の心理とその支援
第 15 回	健康障害の心理とその支援,
第 16 回	試験の実施

**到達目標**

国が定めた障害の 4 分類や各障害の概要、心理的・社会的問題点を理解する。  
それぞれの障害の違いを理解し、各障害に対応した心理的支援に必要な知識を習得する。  
同じ障害名であっても、程度や症状も症例によって異なり、対応も異なることを理解する。

**履修上の注意**

「心理学概論Ⅰ」「心理学概論Ⅱ」を受講していること。  
スマートフォンや携帯電話、タブレット端末などはマナーモードにし、鞆の中にしまっておくこと。  
講義の最後に、受講していれば必ずわかる必須問題についての小テストを行う。

**予習・復習**

次回講義予定の内容について教科書をよく読んで予習をしておくこと。  
講義内で行われた小テストの復習は必ずしておくこと。

**評価方法**

定期試験 50%、受講態度 20%、講義内での小テスト 30%にて総合的に評価する。

**テキスト**

教科書は特に指定しないが、以下の本を参考にすることが望ましい

- ・参考書：障害者心理学 第2版
- ・著者名：太田信夫（監修）柿澤敏文（編）
- ・出版社名：北大路書房
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4-7628-2984-0）